

## 第20回 京都府NIEセミナー

# 調べて、深めて、再発見！

コロナ禍は、人と人との交流や 社会との関わり大切さに、あらためて気づききっかけとなりました。情報  
を入手し、選択し、考え、発信するための「広義の情報教育」が、これまで以上に重要です。

子どもたちの興味や問題意識をはぐくむのに有効なNIE(教育に新聞を)活動は、さまざまな手法と組み合  
わせることによって、さらに深く、充実したものになるのではないのでしょうか。今回は「ICT(情報通信技術)」「  
図書館」の2つをテーマに、その活用で何ができるのか、学び、共に考えます。

◇日時 2021年2月9日(火) 午後2時半～5時 (開場 午後2時)

◇会場 ~~京都新聞社7階文化ホール (京都市中京区烏丸通夷川上ル、京都市営地下鉄「丸太町」駅 ⑦番出口)~~  
**「ZOOMによるオンライン開催」に変更します**

◇内容 講演「『再発見』が膨らむICT活用」  
瀧本 徹 さん (京都府教育庁指導部学校教育課 ICT教育推進室 総括指導主事)

講演「調べる力、見える化、課題解決に図書館を徹底活用」  
「チーム・シラベル」の皆さん

報告「コロナ禍、京都市教育委員会と地元新聞社・放送局の連携による学び支援」  
京都新聞社メディア局

### 〈講師紹介〉

瀧本 徹 (たきもと とおる) さん

2015年から2年間、総務省「先導的教育システム実証研究事業」で、ICT教育推進リーダーとして、ICTドリームスクール  
実践モデルを構築。19年から京都府教育庁ICT教育推進担当として、文科省「遠隔教育システム導入実証研究事業」で京  
都大と連携し学術情報ネットワークSINETを活用した遠隔授業を研究。20年から現職。GIGAスクール構想の実現に向  
けて、ICT 環境整備、教職員研修を担当。文科省「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」でタブレット1人1  
台環境での授業の研修モデルを実証研究。

チーム・シラベル

図書館の蔵書や資料を使ったワークショップ開催で、まちづくりや市民活動に携わる人たちのリサーチを支援する市民  
グループ。2016年度、京都府府民力推進課(当時)と府立図書館を事務局に自治体職員やNPO法人スタッフら約20人で  
発足。「調べる力」「情報の目利き力」「見える化する力」による課題解決の糸口見つけを目指す。京都市をはじめ府内各地  
の公立図書館で、地元の市民団体や司書と協力してワークショップを重ねる。亀岡市や城陽市では夏休みの子どもたち、  
宇治市では図書館や学校図書館ボランティアを対象に実施した。

**入場無料！どなたでも参加できます** ~~(会場定員40人)~~

※ZOOMによるオンライン視聴(定員100人)も可能です。参加のみの開催とします。  
新型コロナウイルス感染拡大の状況にまっけては、オンライン視聴のみでの開催とすることがあります。  
を踏まえ、開催方法を変更しました。

主催 京都府NIE推進協議会 (事務局:京都新聞社読者交流センター TEL075-241-5231)  
後援 京都府教育委員会、京都市教育委員会、  
(申請中) 京都市小学校NIE実践研究会、京都市立中学校新聞教育・NIE研究会

# 第20回 京都府N I Eセミナー

＜参加申し込み＞

京都府N I E推進協議会 事務局 行  
FAX 075-241-5946

(所属・氏名)

---

(連絡先電話)

---

(メールアドレス)

---

※オンライン開催の場合、ZOOMの招待メールを送信してもよいアドレスをご記入ください。

~~です。~~  
**※ 締め切り 2021年 2月 4日 (木)**

＜お問い合わせ＞

京都府N I E推進協議会 事務局(京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都新聞社 読者交流センター)

メール： t-ishi@mb.kyoto-np.co.jp TEL：075-241-5231 (担当・石崎)